

栃木県農業大学校 令和5年度学校評価シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目 評価指標	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	主担当
				学部・塾	内容				
1 入学生の確保 (就農を目指す応募者の増加)	<p>(現状)</p> <p>○入学生はH31からR3まで定員を下回っていたが、R4は計80名、R5は77名と概ね確保出来ている。</p> <p>○R5年度生募集に係るオープンキャンパスは、生産学部が151名、経営学部(いちご学科)が35名、計186名となり参加者数目標の160名を上回った。</p> <p>○いちご学科は創設3年目にして定員以上の学生数を確保した。</p> <p>○とちぎ農業未来塾では、受講希望者数や品目について経済状況に左右される傾向がある。</p> <p>(課題)</p> <p>●高校生対して、農業大学校の存在や特徴を認知してもらい、就農を目指す応募者の増加を図る必要がある。</p> <p>●「いちご学科」について、農業振興事務所や農業関係団体等との連携とともに、高校生・大学生、社会人、農業者等幅広い年代への積極的な広報活動等により、「いちご経営者」を目指す学生の確保を図る必要がある。</p> <p>●とちぎ農業未来塾の受講希望者や品目については、柔軟な受け入れ体制が必要である。</p>	<p>入学生 80名 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産学部 70名 ・農業経営学部(いちご学科) 10名 <p>とちぎ農業未来塾生 70名以上</p> <p>オープンキャンパス全体参加者数 160名以上</p>	<p>(1)農業大学校の情報、魅力の発信</p>	生産学部	<p>○オープンキャンパス等による農大の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業高校、一般高校に分けて実施。 ・いちご学科単独でも実施する。 ・プログラム等を工夫し、より多くの参加者を確保する。 ・HP・ポスター・チラシ等により適時適切なPRに努める。 	<p>経過・達成実績</p> <p>達成度</p> <p>次年度の課題と改善方向</p>	<p>学生課 企画情報部会</p> <p>学生課 企画情報部会</p> <p>学生課 企画情報部会</p> <p>いちご学科 未来塾担当</p> <p>学生課</p>	<p>主担当</p>	
				経営学部	<p>○高校への出前授業・高大連携、JA等への農大PRの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会や出前授業等に積極的に参加し、情報発信を図る。 ・キャンパスガイドや学生募集チラシ等の配布を速やかに行う。 				
				生産学部 経営学部 未来塾	<p>○農大の魅力発信の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPの充実、県SNSの活用 各部・学科等の情報をきめ細かく発信し、PRを図る。 ・各種広報誌等でのPR、マスメディアの活用 ・その他広告物や学校生産物等によるPR 関係団体等に広告物の設置を依頼する等、積極的な広報活動をに努める。 				
				経営学部 未来塾	<p>○新規就農イベント等におけるPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農相談会の紹介や新農業者フェアへの参加などによりPRを図る。 				
			(2)入試方法の改善	生産学部 経営学部	<p>○出願期間等の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期、出願期間等の随時見直し 前後期試験の日程を調整し、出願者をより多く確保する。 いちご学科では出願期間を長期に設定し、学生の確保を図る。 ・合格者への情報提供 入学までに不安がないよう早めに手続き等の情報提供を行う。 県の就農相談等への参加などの情報を提供していく。 				